

笠師保駅

— 恋火駅 —

夏には、幻想的で美しい「塩津かがり火恋祭り」が行われる笠師保。この地区には、「女の神」が祀られている唐島神社と、「男の神」が祀られている日面神社があります。二人でこの2社をめぐる、良いことがあるかもしれませんね。。

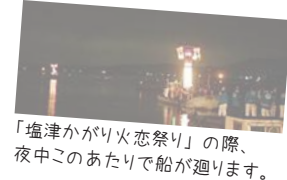


- 一、霊池に無病息災の水あり
- 二、臨月にこの島の小石を懐中すると安産になる
- 三、日照りに祈禱すれば三日以内に大雨を降らす
- 四、海上を航行するものは石を持って祈ると風難に合わず
- 五、この場所の木や草や石を勝手に持っていく者は病死する
- 六、この神社に詣でる者は諸難を逃れ、満願成就する
- 七、この島の木や岩は虎のようでもあり龍のようでもありすばらしく風光明媚である

唐島神社にある石碑には、七つの言い伝えが残っています。左はその抜粋。おおむねこのようなが書かれています。

唐島神社の森

唐島の森は、神社を覆うようにツル植物や低木が群生する“入らずの森”です。希少な植物が群生し、古くから植物採取などが禁止されてきました。現在は、県指定天然記念物に指定され、保護されています。



「塩津かがり火恋祭り」の際、夜中このあたりで船が廻ります。



大津潟
田鶴浜の野鳥公園と並び、多くの野鳥や渡り鳥がいます

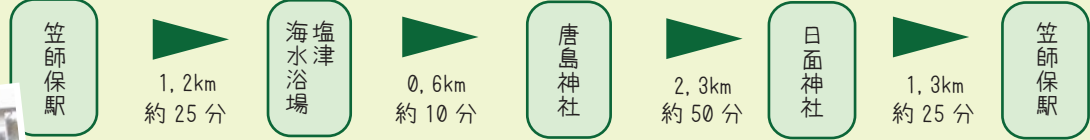
塩津かがり火恋祭り (7月第4土曜日)

日面神社と唐島神社の祭礼。年に一度、夏の夜に海上で「男の神」と「女の神」が会うというストーリーを秘めたお祭り。海上を照らす2000の灯明の中、キリコと神輿に乗せた船が海上を廻る様子は、華やかさと神秘さが入り混じった光景です。能登のキリコ祭りの中でも異彩を放ちます。



笠師保駅周辺散策コース

約 5.4km
徒歩 1 時間 50 分



現在は使用されていない海水浴場
「女の神」が祭られている唐島神社
唐島の森は神秘的な雰囲気

「男の神」が祭られている日面神社